

江戸川高等学校 令和5年度 年間授業計画

学年	3	教科	数学	科目	数学Ⅲ	単位数	5
使用教科書 (出版社名)	改訂版 高等学校 数学Ⅲ (数研出版)			補助教材 (出版社名)	4プロセス (数研出版)		

学 期		指導内容	具体的な指導目標	評価の観点・方法
1学期 (65)	前半	第3章 関数、第4章 関数の極限、第5章 微分法	数列や関数値の極限の概念を理解し、それらの事象を考察できるようにする。	定期考査は年間4回。評価はすべてのテストと提出物等の状況を総合的に判断して行う。
	後半	第5章 微分法、第6章 微分法の応用、第7章 積分法とその応用	微分法について理解を深めるとともに、その有用性を認識し、事象の考察に活用できるようにする。	
2学期 (70)	前半	第7章 積分法とその応用 第1章 式と曲線	積分について理解を深めるとともに、その有用性を認識し、事象の考察に活用できるようにする。	
	後半	数Ⅲ入試問題演習、数学入試問題演習	平面上の曲線と複素数平面、極限、微分法及び積分法についての応用力をたかめ、知識の習得と技能の習熟を図り、事象を数学的に考察し表現する能力を伸ばすとともに、それらを積極的に活用できるようにする。	
3学期 (40)		数Ⅲ入試直前演習		

* なお、担当者のそれぞれの工夫や、生徒の理解の進み方等の事情により、必ずしも上記計画のとおり展開するものではありません。

* 学期欄に()で記入してある時数は、予定時数です。